



コノコダヨリ。



KONOKODAYORI MAGAZINE

FROM KONOKOTOTOMONI

PICK UP!!

愛犬の攻撃的な行動への対処法は？

コノコウラバナシ/コノコ奮闘記/わんここばなし



愛犬の攻撃的な行動への対処法は？

愛犬が攻撃的で、噛みつく、唸るなどのトラブルが絶えないとお悩みの飼い主さんが増えています。中にはいつもは大人しいのに、何かのきっかけで急に攻撃的になってしまう子もいるでしょう。5月は暖かくて散歩にもちょうど良い気候のため、お散歩の時間がいつもより伸びる方も多いと思いますが、お出かけ先で人や他のわんちゃんに攻撃をしてしまうと大変ですよ。わんちゃんが攻撃的になってしまう理由や対処法についてご紹介します。



Attention! 攻撃的になる原因

独占欲

お気に入りのおもちゃを取られた時や、飼い主さんが別の誰かに取られてしまった時も、嫉妬して攻撃行動をとるかもしれません。日頃からたっぷり愛情を注いで、しっかりトレーニングすることで改善できます。

見知らぬものや、逃げる術が分からない、頼れる相手がいない時に、吠える、威嚇、噛むといった攻撃行動で相手を遠ざけようとする。また、一度恐怖心を覚えた物に対してトラウマになってしまうこともあります。

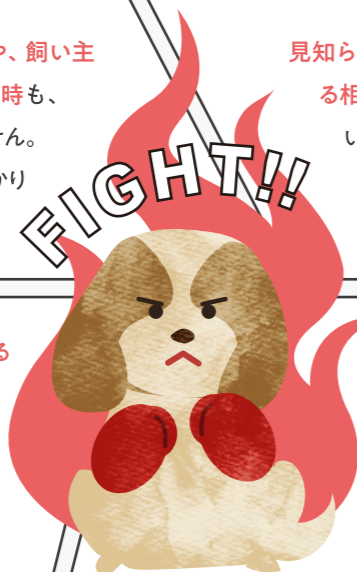
恐怖心

本能的

わんちゃんの性格は犬種毎に強く現れる傾向があり、猟犬だったテリア種などは気性が荒い子が多いと言われます。ただ、しっかりとしつけを行うことで落ち着きを持たせることも可能です。

普段は大人しいわんちゃんが急に攻撃的な態度を取った場合、体のどこかに病気が潜んでいるかもしれません。よく観察して必要があれば動物病院に相談しましょう。

病気



Check!

わんちゃんの社会化期をご存知ですか？

生後3週齢から12週齢までの期間は社会化期と呼ばれています。社会化期の過ごし方で後の性格が決まると言われていて、その期間に様々な生き物や場所、乗り物に慣れさせることで社会に対する恐怖心や警戒心を取り払ってあげることができます。反対に、社会化期に十分な経験を積むことができなかったわんちゃんは初めての経験に戸惑い恐れて、攻撃的な態度をとるようになる傾向があります。



攻撃的なわんちゃんを落ち着かせる対策

社会化トレーニングを行う

TRAINING!

できれば子犬のうちから社会化トレーニングを行いましょう。まずは家の周りから始め、近所の公園、人の集まる場所など、徐々に活動範囲を広げていくことが犬にとってよい刺激となります。ただし、子犬は社会化期のほとんどをペットショップで過ごすため、社会に慣れていないわんちゃんが多いのも事実です。少し苦労するかもしれませんが、社会化期を過ぎてもトレーニングは可能なので、諦めずに色々な物事に慣れさせてください。

ストレスを軽減してあげる

RELAX

人間でもイライラすると八つ当たりをしてしまうように、わんちゃんもストレスで攻撃的になる場合があります。特にストレスで多いのは運動不足と言われ、祖先に牧羊犬や猟犬がいた場合は本能的に運動を必要とする為、しっかり散歩させてあげましょう。また、食事に満足できていないなら回数を増やして誤魔化す、何かにトラウマを抱えているのであれば対象物を隠すなど、愛犬のストレス要因を取り除いてあげましょう。



愛犬の攻撃的な一面を見てしまうと、不安に感じてしまいがちですが、もし社会化期が経験不足だったとしても、わんちゃんに対して愛情を持って真摯に接することで今からでも良好な関係を育めるはず。愛犬が攻撃的な原因を把握して、社会に慣れさせるためのトレーニングやストレスを感じる環境の改善をしてあげましょう！

CHECK!

今回の記事の内容についてもっと知りたい方は、右に記載のURLからわんちゃんの攻撃的な行動の対策についてまとめた記事をお読みいただけます。より詳しい内容となっておりますので、ぜひご覧ください！

<https://konokototomoni.com/category-training/dog-aggressive/>



QRコードからもチェックできます



今回は、コノコトモニをご愛顧
いただいているお客様のわんちゃんを
ご紹介させていただきます!



潤んだ瞳がとってもキュートなラブちゃん

今回は、静岡県にお住まいのトイプードルのラブちゃんについて、素敵なエピソードをお送りいただいたので、ご紹介させていただきます!潤んだ瞳がとってもキュートなラブちゃん♪お父様曰く、なんとラブちゃんとガラス越しに目が合うこと3秒で家族の一員として迎えることを決められたそうです!こんなに潤んだ瞳で見つめられると…納得です(笑)

おやつの際は必ず前足で一旦引き寄せてから食べたり、耳をブラッシングされることが大好きなようで、スゴくお利口さんですね(*^_^*)そんなラブちゃんも病院だけは最大の苦手らしく、駐車場につくなりソワソワし始め、待合室では外に逃げ出したいなっちゃうようです。一度トイレに立てこもってしまうこともあったんだとか…(^^;)でも、美容院は大好きなようで3週に一度はパックを欠かさないとのこと!!とってもオシャレなわんちゃんですね♪



スタッフからのコメント

温かなご家庭に迎えられたラブちゃんはスゴく幸せそうですね♪お父様も仰る通り、潤んだ瞳で自分の世界へ導くオシャレなラブちゃんにスタッフ一同メロメロです(^^)

コノコトモニサイト
へはこちらから

<https://konokototomoni.com>

コノコトモニ

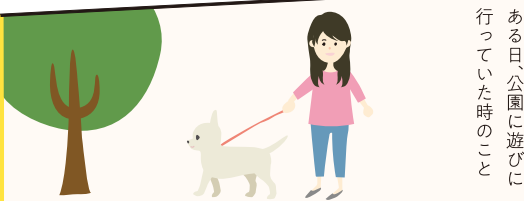
検索



Let's
Check!

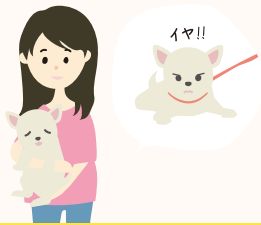
スタッフ松浦と愛犬大福の コノコ奮闘記 vol. 37

- ある日の大福 -



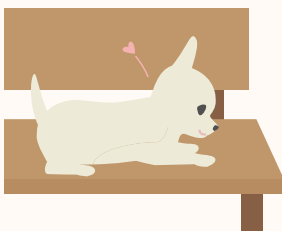
ある日、公園に遊びに行っていた時のこと

仕方なく抱っこしてお散歩をしました。



公園を一緒に歩こうとするとすぐに嫌がり

そのベンチの匂いがかいだり、急に走り出したりと、楽しそうに遊びだしました。そして満足すると…



その後、少し広めのベンチで休憩していると

私の方をみて「もう帰るよ!」と訴える、めんどくさがり屋の大福なのです。



お散歩バックに自ら入って

KONOKOTOTOMONI



わんここばなし

Theme 犬と人の歴史



みなさんにとって大切な家族であり、パートナーでもある「わんちゃん」。一体いつから日本人と共に暮らしてきたのかご存知ですか? わんちゃんが神様として登場する『日本書紀』(奈良時代)や室町時代から伝承する『桃太郎』、「犬公方」ともよばれる徳川綱吉が出した『生類憐みの令』(江戸時代)など、日本人の歴史にわんちゃんは昔から登場してきました。奈良時代というだけでもかなり昔だなおもものですが、実はわんちゃんとの共同生活のはじまりはもっと昔、縄文時代にまで遡るそうなんです。(※諸説あります)人とわんちゃんの関係は、元々は狩猟のパートナーとしての関係が始まりでした。生きていくために共生をしていたかと思いきや、当時の遺跡から見つかったわんちゃんの骨は丁寧に埋葬されていただけでなく、中には骨折の治癒痕が確認された事例もあったそうです。骨折したわんちゃんは、猟犬としては働けません。にも関わらず、骨折が治癒するまで生きられたことは、意味するそうです。当時から人々は、わんちゃんをただの「猟犬」としてではなく、家族同然の存在として大切に考えてきたのかもしれないですね。そして今も、たくさんの方がわんちゃんと暮らしています。これからも、大切なわんちゃんと共に、たくさんさんの思いを作っていきますよね!



大好き♡

